

## 2004年度春季大会の報告

2004年度春季大会は、気象庁・学術総合センター・学士会館（東京都千代田区）を会場として2004年5月16日（日）～19日（水）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は780名で、このうち日曜日のみの参加は49名であった。

2日目午後には、学術総合センター一橋記念講堂において総会が開かれ、中村 尚会員と木本昌秀会員に日本気象学会賞が、笹野泰弘会員と山本孝二会員に藤原賞が授与された。また総会では、会員制度見直しを中心とした学会定款・細則の一部改訂を含んだ全議案が賛成多数により可決された。総会終了後、4名の受賞者による記念講演が行われた。学術総合センター一橋記念講堂においては、1日目午後には気象学会地球環境問題委員会主催の公開講演会「地球温暖化と異常気象」が、3日目午後には大会シンポジウム「2003年

の日本の冷夏-異常気象をどこまで理解・予測できるか」が行われた。これらは共に聴講無料で一般公開され、多くの聴衆の中で活発な討論が行われた。

今回はポスター及び口頭発表による一般講演と特定のテーマに基づいてコンピーナーが編成する2つの専門分科会が行われた。一般講演の発表申込み件数は419件（内訳はポスターが248件、口頭発表が171件）、分科会は27件で計446件であった。

会期中およびその前日には、個別のテーマによる研究会が4件開かれた。

最後に、今大会実行委員会として大会準備・運営にご尽力頂いた気象庁の皆様へ深く感謝の意を表します。

2004年6月 講演企画委員会

## 平成16年度東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者推薦募集

標記の賞・助成は東レ科学振興会が運営しているものです。

### 1. 東レ科学技術賞

#### (1) 候補者の対象（年齢不問）

- ① 学術上の業績が顕著なもの
- ② 学術上重要な発見をしたもの
- ③ 重要な発明をして、その効果が大きいもの
- ④ 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの

#### (2) 表彰の内容

全体で2件前後、1件につき賞状・金メダルおよび賞金500万円

この賞の応募には学会の推薦が必要です。気象学会からの推薦者は7月末～8月初めの「学会外各賞推薦委員会」で決定する予定ですが、今後の選考の参考のため、推薦するにふさわしい方をご存じでしたら気象学会までお知らせ下さい。

### 2. 東レ科学技術研究助成

#### (1) 候補者の対象

国内の研究機関において自らのアイディアで萌芽的基礎研究に従事しており、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45歳以下；従来の研究の多くが海外で行われていても可）。

(2) 助成の内容：総額1億3千万円、1件3千万円程度まで10件程度

(3) 推薦件数制限：1学協会から2件以内

この助成の応募には学会の推薦が必要です。気象学会の推薦を希望する方は、2004年9月20日（月）必着で気象学会（下記）まで申請して下さい。応募用紙等は <http://www.toray.co.jp/tsf/index.html> からダウンロードできます（気象学会事務局にもあります）。応募件数が上記(3)の制限を超えた場合の扱いは学会に一任して下さい。

連絡先：〒100-0004

東京都千代田区大手町1-3-4気象庁内  
日本気象学会 学会外各賞候補者推薦委員会